ブルネッロ・ディ・モンタルチーノの2026年消費者向け販売額、7億5,000万ユーロ近くに達する見通し

コンソルツィオの予測では、消費者支出は2.7%減、販売本数は3%減。米国では8%の落ち込みが見込まれる

2026年11月20日（金）



Consorzio del vino Brunello di Montalcinoが11月19日木曜日に発表した分析によると、ブルネッロ・ディ・モンタルチーノの2026年の世界消費者向け販売額は7億5,000万ユーロ近くに達する見通しだ。ワイン業界にとって厳しい年となるなか、需要は小幅に落ち込むと予測されている。

予測では、年間を通じて小売店、バー、レストランで世界全体約930万本が販売される。コンソル

ツィオのためにUnione Italiana Viniの調査部門Osservatorio UIVが実施した調査に基づくと、2025年比で金額は2.7%、数量は3%減となる計算だ。

この推計が示すのは、ブルネッロ・ディ・モンタルチーノの産地呼称を対象とした最終消費者の支出であり、ワイナリーの売上高でも輸出額だけでもない。この区別が重要なのは、輸入業者への出荷や生産者が計上する売上ではなく、イタリアを代表する高価格帯ワイン産地の一つに対する最終需要を測ることが、この調査の目的だからだ。

ブルネッロ・ディ・モンタルチーノは、モンタルチーノ市域でサンジョヴェーゼ種から造られるトスカーナ州の赤ワインだ。この産地呼称は長年、少数の主要市場に大きく依存してきたが、2026年の見通しでは各市場の動向が分かれている。

歴史的にブルネッロ最大の海外市場である米国では、今年の消費者向け販売額が8%減少すると予測される。一方、カナダは15%増の見込みだ。消費者支出で引き続き最大の市場であるイタリアは、金額ベースで1.2%の小幅な減少が予想されている。コンソルツィオによると、この3市場で産地呼称の世界消費者向け販売額のおよそ3分の2を占める。

その他の市場の動向はまちまちだ。デンマークとオーストリアはいずれも3%増が見込まれる。スイスは小幅な減少となる予測だ。高級イタリアワインの他の重要市場であるドイツと英国は、それぞれ8%、7%の比較的大きな落ち込みが見込まれている。

販売数量が減少する一方、ボトル1本当たりの平均消費者価格は、おおむね横ばいの81ユーロ弱となる見通しだ。イタリア国外の平均価格は約85ユーロで、国内市場の74ユーロを上回る。米国は1本平均88ユーロで最も高く、スイスと英国も80ユーロを超える。

コンソルツィオは、11月23日まで開催される業界関係者、メディア、ワイン愛好家向けの年次イベント「Benvenuto Brunello」の開幕に合わせて数値を発表した。同イベントでは、一般販売に先駆けてBrunello 2022、Brunello Riserva 2021、Rosso di Montalcino 2025が紹介される。メディアと業界関係者を対象とするロンドン版のイベントは、11月25日に予定されている。

データとともに発表された声明で、コンソルツィオ会長のGiacomo Bartolommeiは、消費データは輸入業者の発注だけを見るよりも、実際の市場状況をよく表すと述べた。高級ワインも低迷の影響を受けており、産地呼称のブランド力は助けになるものの、継続的なプロモーションが必要だとした。

コンソルツィオによると、この分析はIWSR、NielsenIQ、SipSource-WSTA、米国勢調査局など複数のデータソースに基づいている。2026年の数値は確定した年末実績ではなく予測であるため、年間の最終的な結果ではなく、市場の方向性を示す推計として見る必要がある。それでも、この報告書は、米国など成熟市場で需要が弱まるなか、ブルネッロはこれまでのところ、他の一部の高級ワインほど大きな打撃を免れていることを示唆している。